

福岡ランニングセンター(FRC)ニュース NO.116

発行日：2025 年 8 月 16 日

発行責任者：西村文男（携帯 090-7455-1853）

事務局 新日本スポーツ・福岡県連盟北九州事務所 TEL・FAX 093-662-9278

〒806-0013 北九州市八幡西区清納1丁目1-10 E-mail nishimura670097@gmail.com

福岡ランニングセンター(FRC) <https://www.njsf.net/zenkoku/pref/fukuoka/running/>



第96回のおがた・こたけ月例マラソン

警報級の大雨により中止！

8月8日（金）午前10時半に鹿児島で大雨を降らしている線状降水帯が10日（日）にかけて北上し福岡県で警報級の大雨になると天気予報があり、河川敷の月例マラソンは危険なので「第96回のおがた・こたけ月例マラソン」は中止を決定しました。

そして同日の午後5時に直方市役所都市計画課から「10・11日は河川敷を閉鎖します。」と連絡がありました。

9日（土）の昼に線状降水帯の合間を縫って会場に「月例マラソン中止」（写真左上）の貼紙を張りしました。

翌10日の午後5時に貼紙を回収に行った時は、右側の写真のように河川敷は完全に冠水していて、国土交通省によると13時現在で水位3.79mを記録していました。河川敷会場入口は車が侵入出来ないように鎖が張られていて、河川敷駐車場入口には「利用中止」の看板が立ててありました。

「月例マラソン中止」の貼紙を回収して、無事に作業を終わりました。次回の月例マラソンは9月14日（日）です。

福岡ランニングセンター

第11回総会開催される

4月26日（土）11時から新日本スポーツ連盟福岡県連盟北九州事務所（通称：自然の館）で福岡ランニングセンター第11回総会が出席6名、委任7名で開催されました。

議長に宮地辰彦さんを選出して、2024年度活動報告と会計報告、2024年度会計監査報告、2025年度活動方針と予算が提案されて、討論と採決の結果、全員賛成で可決されました。

県連盟理事には田渕好徳・洲上一宏・宮地辰彦を選出

県連盟総会代議員には山元耕一・大城政樹・武田 隼を選出

2025年度役員には新たな役員候補がいなかったため、これまでの役員が継続することになりました。2025年度役員は下記の通り。

〈会長〉西村文男 〈副会長〉神田 孝・田渕好徳

〈運営委員〉宮地辰彦・山元耕一・大城政樹

〈事務局長〉洲上一宏

〈会計監査〉奴留由健二



10日の会場入口



10日の河川敷会場



10日の河川敷駐車場

大濠公園練習会報告 & ご案内

7月18日（金）の練習会は雨のため中止

練習会ご案内

〔日時・場所〕 8月29日（金）8時／9月19日（金）8時 ボートハウス前

〔内容〕 練習は8時から9時まで／10時からお茶。FRC会員の走友もOK

〔保険加入〕 スポーツ傷害保険料 100円当日徴収

※前日20時50分のNHK気象情報で降雨確率が50%以上の場合は中止します。

夏越祭（飲み会）

7月18日（金）の練習会は雨で中止しましたが、夕方の夏越祭には5人が参加しました。

「第17回にこにこペースの平和マラソン」

「平和」をアピールしながら走る！



スタートの勝山公園長崎の鐘

7月20日（日）、小倉北区の勝山公園から八幡東区の小伊藤山公園までの約8kmで、「核兵器廃絶」や「平和」をアピールしながら走る『第17回にこにこペースの平和マラソン』を開催しました。

2009年7月21日に門司港駅から小伊藤山公園（八幡東区）までの約21kmで第1回を開催して、今回は17回目となりました。

広島と長崎に原子爆弾が投下されて「原水爆禁止世界大会」が広島市と長崎市で開催されるようになりました。その広島と長崎を結ぶ「広島・長崎反核平和マラソン」が自治体の労働組合を中心に組み込まれました。

その時に、単に広島と長崎を繋ぐだけでなく、自分たちの住む町で「反核平和マラソン」を開催しようと始めたのが、この平和マラソンです。誰もが参加できるように「にこにこペースの平和マラソン」としました。

第1回以降、曽根駅（小倉南区）や折尾駅（八幡西区）をスタートして小伊藤山公園ゴールや、洞海湾一周して小伊藤山公園ゴール等、市内網の目コースを探求してきましたが、最近の異常気象による猛暑対策の為、前回から距離を短くして、1コースに集中して対応することになりました。

集合予定の朝9時半には10人のランナーと5人のスタッフ、合計15人が揃いました。勝山公園「長崎の鐘」で集合写真の後、開会式で神田孝理事長（新日本スポーツ連盟福岡県連盟）



八幡東区尾倉町を走る

が挨拶をしました。先頭にニュースカー（アナウンサー同乗）、給水車と救護車（看護師同乗）の3台の車両が伴走し10時にスタートしました。

給水車は2km毎にランナーに給水しながら進みました。体調が悪くなったランナーは救護車に乗って移動しながら進みました。

途中、熱中症警戒アラートが鳴り確認しましたが、WBGT指数は25以上28未満の「警戒」でしたので、ゴールまで完走しました。

小伊藤山公園には11時30分に無事到着しました。

小伊藤山公園では、閉会式を行い神田孝理事長から参加者全員に参加証と参加賞が渡されました。そのあと慰霊塔をバックにして参加者全員の集合写真を撮り閉会しました。閉会后、桃園運動公園横にある新日本スポーツ連盟北九州事務所（通称：自然の館）に場所を移してシャワーを浴びて、12時30分から14時まで懇親会をしました。

懇親会に参加した12人の中には、博多から小倉駅に前泊で参加された方もいました。

とても楽しいランニングでした。来年も集まることを誓って散会しました。



ゴールの小伊藤山公園

「ランニングセンターニュース」に掲載した写真を希望の方はデータで送りますので下記までご連絡ください。

担当：神田 mailto:njsf_fukuokaken40@lib.bbq.jp